



ふくしまけん とみおかまち
福島県 富岡町
TOMIOKA TOWN FUKUSHIMA

富岡町 職員採用試験の ご案内



令和8年度 資料



富岡町マスコットキャラクター
「とみっぴー」



富岡町長からの メッセージ



富岡町職員採用試験の案内をご覧いただきありがとうございます。
富岡町は、福島県浜通り地方の中央に位置し「福島県浜通りの中間拠点」として、太平洋と阿武隈山地との間に広がる面積68.39km²、人口12,000人の町です。

町を二分して太平洋に注ぐ富岡川や阿武隈山地を流れる滝川溪谷、大倉山、麓山などの山々、断崖絶壁の海岸線、離れ島が散在する浜辺など豊かな自然に恵まれ、花と緑あふれる四季を通じて過ごしやすい温暖な地です。



富岡町職員は、こうした多彩な表情を持つ富岡町を未来につなげ将来を切り拓くため、町民一人ひとりの声を丁寧にお伺いしながら「産業」、「暮らし」、「教育」、「交流」をキーワードとする取組を重点的に進め、『希望と笑顔あふれる富岡町』を目指し、「全世代の方々が安心して暮らすことができる町」、「未来を担う子供たちを育てる町」、「魅力ある地域資源のある町」を実現するために、強い使命感とやりがいを持って、日々職務に精励しています。

平成23年3月11日の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による全町避難を余儀なくされた富岡町は、着実に復興の歩みを進めておりますが、近年、自然災害の激甚化や新たな感染症の脅威など、我々を取り巻く環境は厳しさを増しています。

しかしながら、未曾有の大災害から立ち上がるため、そして、本町の創造的発展を見据え、これまでの取組みを一つひとつ積み重ねることで、町民の幸せづくりのための事業をより一層、積極的に展開していくことが必要です。

富岡町には、チャレンジ精神があふれる方にとって、発想力と行動力を発揮できる仕事がたくさんあります。町民の皆様幸せを実感いただき、笑顔で安心して暮らすことができる富岡町を一緒に創り上げましょう。

皆さんと共に働けることを楽しみにしています。

富岡町長 山本 育男





求める人材像



何事にも**明るく元気に前向き**な人

柔軟に物事を考え、
人と話ができ、聞くことができる人

町の復興と一緒に考えることができる人



皆さんの**気持ち**が**貢献力**につながります！

人の役に
立ちたい

専門知識を
生かしたい

町の成長を
実感できる
仕事がしたい

地域をつくる、地域を支える＝**地域貢献**になる！

職員数

161 人

町外出身者数

61 人

県外からも
大歓迎だっぴ！



(2025年4月1日時点)



富岡町のご紹介

～花と緑に抱かれた町 とみおかまち～



基本情報 (2025年5月末時点)



人口
1万 1132人



町内居住者数
2650人



年間平均気温
13.8度



町の木:サクラ

明治33年、夜の森が開拓された際に植えられた桜が今では町のシンボルとなりました。毎年開花と同時に見物客で賑わいます。



町の花:ツツジ

全国花いっぱい「花と緑の駅」コンクールで日本一に輝いたJR常磐線夜ノ森駅のツツジは、旅人の目を楽しませます。



町の鳥:セキレイ

水辺に生息するセキレイは、富岡川の清らかな流れとチチッと爽やかなさえずりが人々の心を和ませます。

生活環境

地域のボランティアの最前線である消防団によるパトロール機能も充実した、安心・安全な環境です。



双葉警察署



富岡消防署



富岡町をはじめ
広野・檜葉・大熊町、
川内村を管轄



生活インフラ

複合商業施設

ヨークベニマル、ツルハドラッグ、ダイユーエイトが出店
フードコートも3店舗有



医療施設

ふたば医療センター附属病院、
富岡診療所、富岡中央医院、
穴田歯科、さいとう眼科 等



郵便局・銀行

富岡郵便局、東邦銀行福島銀行、
あぶくま信用金庫、ATM複数社



子育て環境



富岡町立小中学校



地域交流館わんぱくパーク



文化交流センター

図書館や
大ホールなど、
生涯学習拠点



富岡町立にこここども園



とみおかアーカイブ・ミュージアム

いろんな施設が
充実してるっぴ!





福島県 59市町村 (13市・31町・15村)



暮らし



「福島浜通りの中間拠点」として位置しており、四季を通じて温暖な気候です。大型スーパーのさくらモールをはじめ、図書館や病院・スポーツセンターなどもあり、利便性も兼ね備えています。

食



富岡川や阿武隈山地を流れる滝川渓谷、大倉山、麓山などの山々、離れ島が散在する浜辺など豊かな自然に恵まれ、お米やタマネギ、水産物など、多くの名品を育てています。

歴史



(昭和の中央商店街模型)

関ヶ原の合戦後、外様大名・伊達家を睨む徳川譜代の最前線地帯となり、明治初年には金納徴税の拠点『税務署』が配置されるなど、国県などの行政機関が集積しました。『郡都 富岡』として大飛躍した町です。

経済



福島イノベーション・コースト構想による地域活性化や雇用促進を図る「富岡産業団地」を整備し、若者が参入しやすい夢のある産業団地を目指しています。主要産業である農業の再興に取り組んでいます。

復旧、復興、 そして創生へ



基本目標

【 富岡町災害復興計画(第三次)を新たな羅針盤として
町内全域の復興・創生を加速する 】

令和7年度富岡町一般会計予算

120億 8788万円 (前年度比19.9%減)

震災前
約**64**億円
※2010年度

重点施策



帰還と移住の促進

人が人を呼び込む流れを
町内に築き、その広がりをも
って地域全体の
にぎわいを形作る

3つの柱

地域基盤産業の育成

需要と供給を高め、
地域経済を好循環させる



子どもたちの 環境づくり

自ら考え行動し、進んで楽しく
学ぶ子どもを地域で育てる



今後の富岡町のまちづくりにおける基本理念

基本的な考え方や姿勢

目指すべき姿



一人ひとりの幸せでみんなの未来を創る 富岡町

～住むほど、関わるほど、魅力と愛着が湧く町～

未来志向の復興・創生

今を生きる人々の営みの回復に全力で取り組みながら、未来を生きる人々にとって魅力的で価値や可能性にあふれる町になれるような生活環境や産業基盤の整備を進めます。

世界に誇れる幸せづくり

経済性や合理性だけにとらわれず、一人ひとりが居心地よく幸せを実感できる地域づくりを行い、世界に誇れる地域社会の発展に取り組みます。

つながりの拡大

町に関わるすべての人々がつながり支え合うことで、自分らしい希望を叶えるだけではなく、大切に守り抜いてきた町の資産や資源を後世につなげていく原動力にします。



5つの基本方針と政策・施策を推進する6つの視点



富岡町に関わるすべての方々と

地域

と

ひと

と

暮らし

と

健康

と

仕事

富岡らしい幸せを育んでいく



目指すべき姿を達成するための 各種政策



01 地域づくり



帰還と移住・定住の促進

ふるさと富岡とのつながりの継続・確保

交流人口・関係人口の拡大

コミュニティの再構築・活性化

歴史・文化の保護・継承・活用

02 ひとづくり



こどもの居場所づくり、子育て環境の充実

教育環境の充実・確保

生涯学習・スポーツ・文化芸術の振興

人権の尊重・男女共同参画・多文化共生の推進

03 くらしづくり



生活環境の更なる充実

除染による安全・安心の確保

避難指示継続区域の復旧・復興

防災・防犯・防火対策

環境美化・自然環境の保全・活用

広報力・広聴力の強化

デジタル化・行政DXの推進

04 健康づくり



心身の健康づくりの推進

地域医療・介護・福祉の推進

放射線による健康不安対策

05 仕事づくり



産業の振興・雇用の確保

起業支援、チャレンジ応援

まちの賑わいづくり

農林水産業の振興

新たな産業の集積による雇用の創出

富岡産業団地（令和3年4月、全面供用開始）

福島イノベーション・コースト構想による地域活性化や雇用促進を図ります。



新たな産業集積と雇用創出を図る富岡産業団地

国や県の充実した補助金の後押しと、町の最大支援（賃料：100円/㎡ ただし2030年度まで）で様々な企業が進出しています。

- 進出企業：11社（立地協定締結企業数） ● 雇用創出予定：160名
- 操業開始：9社

〈産業団地の概要〉

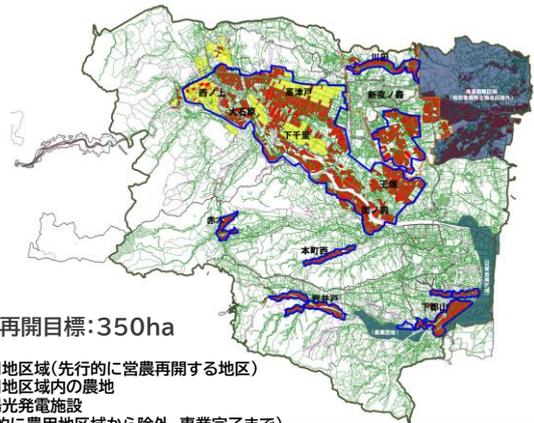
規模	約35ha（うち、産業用地約21ha） ※特例工業団地に指定
交通	国道6号沿い 常磐自動車道常磐富岡IC：約9km 常磐自動車道ならばスマートIC：約5.5km
鉄道	JR常磐線富岡駅：約2km
港湾	小名浜港：約50km・相馬港：約70km

新たな農業へのチャレンジ ～農業の再生～

営農再開とともに、新規就農者の育成を含めた農業復活へのチャレンジ

移住定住施策と連動した新規担い手の確保・育成の概要

1. 町外農業法人の町内参入への支援
補助率1/2、上限1,000万円
2. 町内での新規就農者への支援
生活費助成10万円/月+家賃助成上限7万円/月（最大2年間）
▶☑ **MAX408万円の支援**
3. 町内での農業研修者への支援
生活費助成6万円/月+家賃助成上限5万円（最大2年間）
▶☑ **MAX264万円の支援**
4. 農業地域おこし協力隊
総務省制度を活用、給与21万円/月、福利厚生制度あり、農業を軸とした地域活動（六次化や特産品化を含む）により移住定住を促進



営農再開目標：350ha

- 農用地区域（先行的に営農再開する地区）
- 農用地区域内の農地
- 太陽光発電施設
（一時的に農用地区域から除外、事業完了まで）
- 帰還困難区域
- 産業団地・災害危険区域（旧農用地区域）(青)

新たな農業へのチャレンジ支援



収益化を目指して「とみおかワイン栽培」「パッションフルーツ栽培」
新たな6次化産業「フルーツメレンゲ」
新たな観光資源を目指して「バラ栽培」

農業用施設の整備



カントリーエレベーター（150 ㌔規模）
米の乾燥・貯蔵施設
令和4年産米から稼働
野菜類（タマネギ等）集出荷施設（80㌔規模）
タマネギの乾燥・貯蔵施設
令和6年春稼働

あらゆる支援策を整え、**基幹産業の再興**を目指します。



健康づくりと福祉の充実

町民が安心して生活できる環境づくりを進めます。



特別養護老人ホーム『桜の園』とカフェやフィットネスジムを併設する『トータルサポートセンターとみおか』を整備し、福祉と介護の拠点とすることはもとより、利用者間の交流の場として、令和4年4月に運用を開始。



◆ 特別養護老人ホーム『桜の園』
定員50名（入所48床、ショートステイ2床）

◆ 『トータルサポートセンターとみおか』
フィットネスジム、カフェ、会議室、多目的ワークショップルームなど

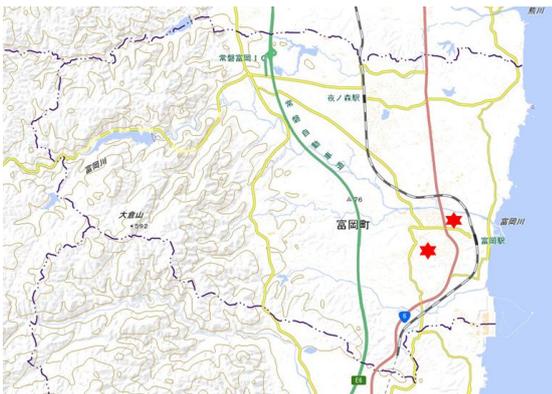
未来を託す、教育施設

子どもと保護者が安心できる教育環境の整備を進めます。

認定こども園

小・中学校

学校給食施設



町内では、富岡町立小・中学校（2018（平成30）年再校）や新たに開園したにこにこども園（認定こども園）（2019（平成31）年開園）では子どもたちの元気な声が響き渡っています。

2022（令和4）年4月には、富岡町立富岡第一小学校・富岡第二小学校、富岡町立富岡第一中学校・富岡第二中学校が、小学校1校と中学校1校にそれぞれ統合し、新たに「小中併設型・小中連携校 富岡小学校 富岡中学校」として新たにスタートしました。



令和4年3月の春休みからは、**放課後児童クラブ事業を開始**



共働きご家庭等の児童への遊びや生活の場を提供し
児童の健全な育成を図ります。



◆ 放課後児童クラブでの様子

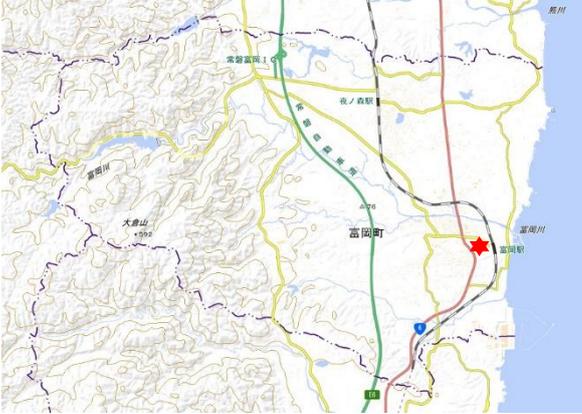
未来へつなぐ、子育て施設

子どもと保護者が安心できる教育環境の整備を進めます。

子育て支援拠点

富岡町地域交流館

富岡わんぱくパーク



富岡わんぱくパークは、子どもの体力向上や運動不足の解消、子育て世代の交流を図ります

2021年(令和3)年3月28日 オープン

【特徴】 プレイリーダーの配置

遊びの主役は子どもです。自ら遊びたいという子どもの気持ちを大切に思いっきり楽しむことができるように、そして、成長の過程で新たな遊びを生み出すことができるように、子どもたちの遊び案内人を配備しています。

開館時間 10:00~18:00

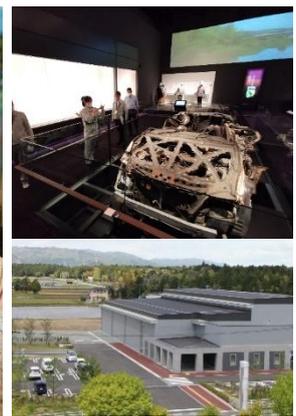
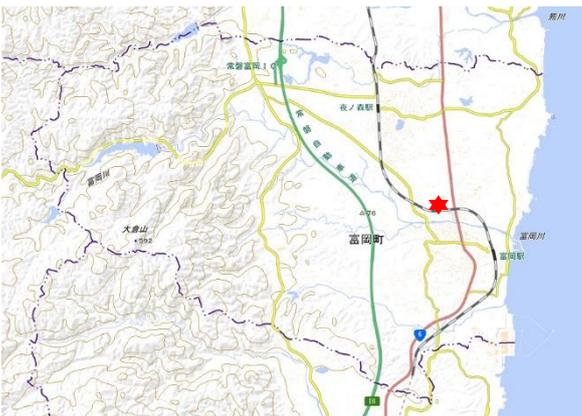
休館日

毎週火曜日(祝祭日の場合は水曜日)、
年末年始
※ただし、学校の長期休暇期間は開館します。

後世に引き継ぐ、町の歴史・文化

富岡で生まれ育ったことを誇りに、どこにいても“ふるさと”とつながる仕組みづくりを行います。

とみおかアーカイブ・ミュージアム



“とみおかアーカイブ・ミュージアム”は、富岡町の歴史や特徴や東日本大震災で起きたこと、町のことが分かる資料を未来に受け継ぎ、分かったことを発表する場として、「調べ、学び、伝える」が整う博物館です。

※アーカイブ:資料を整理・保存して活用すること
※ミュージアム:博物館のこと



2021年(令和3)年
7月11日 オープン!

【収蔵庫・研究室】

- 資料を保管しておく部屋
- 富岡町を研究する部屋

【展示室】

- 調べて分かったことを発表する部屋

【タウンギャラリー】

- 色々な体験講座を開くところ
- お客さんにメッセージを残してもらうところ



地域資源を生かした交流から始める移住

将来的に移住へとつながる交流・関係人口の創出・拡大を図ります。



とみおかくらし情報館

はじめたい生き方を、
新しいふるさとで。

Instagram

福島県原指の桜の名所
「夜の森桜並木」ライトアップ

お試し住宅

町への移住を検討している方など、多くの方々が利用



◆利用人数：最大6人 ◆利用期間：5日以内 ◆利用料：無料
※食費や交通費、生活に必要な消耗品費などは自己負担

町民の誇りであり、長期避難時の心の支えとなった「桜」と「ツツジ」。多くの皆様のご支援・ご協力を得ながら、地域資源を有効に活用した交流を深めています。

また、新たに町に住んでみたい方々へ、福島県移住定住ポータルサイト「とみおかくらし」の開設や、将来の移住につながるお試し住宅の運営など、移住者の声や相談窓口の開設などの取り組みを進めています。

町の発展が国の発展につながります！

日本の公務員全体の



約 **8** 割以上が
地方公務員です



地域をつくる仕事のやりがい
市町村の発展が
国の発展につながる



人が人を呼び込んで
地域の賑わいを「カタチ創る」



既存の資源を活用しながら
未来を担う“ひとづくり”
そして、新たなまちを「再構築」します

先輩職員インタビュー 〈一般行政職〉

Q1

どんな仕事をしていますか？

現在は、総務課管財係で町営住宅や町財産の管理に関する業務を行っています。

Q2

富岡町で働いてみて良かったなと思うことは？

東日本大震災を経て大きく環境が変化した中で、町民の方や新たに移住を希望される方への対応を窓口で直接的に行う事ができ、富岡町についての意見をいただきながら業務ができることです。お客様の笑顔を見ることができた時にやりがいを感じています。

Q3

職場の雰囲気はhowでしたか？また入庁後のギャップはありましたか？

入庁前は不安が多く緊張はありましたが、入庁後は先輩方が優しくご指導していただいたおかげで、職場の環境に早く慣れることができました。職場には明るく元気な方が多いので、毎日良い環境で仕事ができています。

三瓶 晃大

Sanpei Koudai

一般行政
担当



Q4

休日はどのように過ごしていますか？

旅行や趣味の釣りを楽しんでいます。富岡町には海があるので、役場の方と釣りに行くこともあり、釣った魚を家で料理して食べる事が現在の楽しみです。充実した休日を過ごすことができます。



今ではパソコン作業は
誰にも負けません！

先輩職員インタビュー 〈保健師〉

児島 大寛

所属 / 福祉課
入庁 / 平成30年度



健診やがん検診の実施、介護予防教室での健康講話、また、住民のところへ訪問し、健診結果の説明や健康状態の確認などを行っています。

先輩職員の1日



● この仕事のやりがい

住民の方と関わる機会が多いです。町村保健師は、生まれたときからお亡くなりになるまでの一生に関わることができる、とてもやりがいがある仕事です。

先輩からのメッセージ

子どもから高齢者まで幅広い世代の住民と関わることもできるとてもやりがいのある仕事です。町村保健師は今足りないのでお待ちしております！

先輩職員インタビュー 〈土木技師〉



鈴木 雄大

所属 / 産業振興課
入庁 / 平成30年度



町民の方へ再び営農をしていただくための田んぼ、用水路・排水路の整備などを行っています。今の係の仕事は新しく経験のないことですので分からないことが多いですが、毎日先輩に聞きながら、また業者さんと協力しながらやりがいをもって日々頑張っています。

先輩職員の1日



● この仕事のやりがい
民間企業では経験することのできない業務(土木職であれば、道路の整備等)の担当をすることができます。

先輩からのメッセージ
人々の役に立ちたい、町の発展に携ってみたいという方は、ぜひ職員になってください。必ずやりがいを感じることができるはずです。

先輩職員インタビュー 〈保育教諭〉



猪狩 久美子

所属 / 富岡町立にこにここども園
入庁 / 令和3年度



幼保連携型認定こども園「富岡町立にこにここども園」にて、3歳クラスの担任として勤務しています。園では、ひとりひとりの子供たちをしっかりと見られる体制が整っています。未来を担うこどもたちが明るく元気に育っていけるよう、保健師さんとも連携しながら、日々奮闘しています。

先輩職員の1日



日によって早番・基本・遅番がありますが、残業はほとんどありません

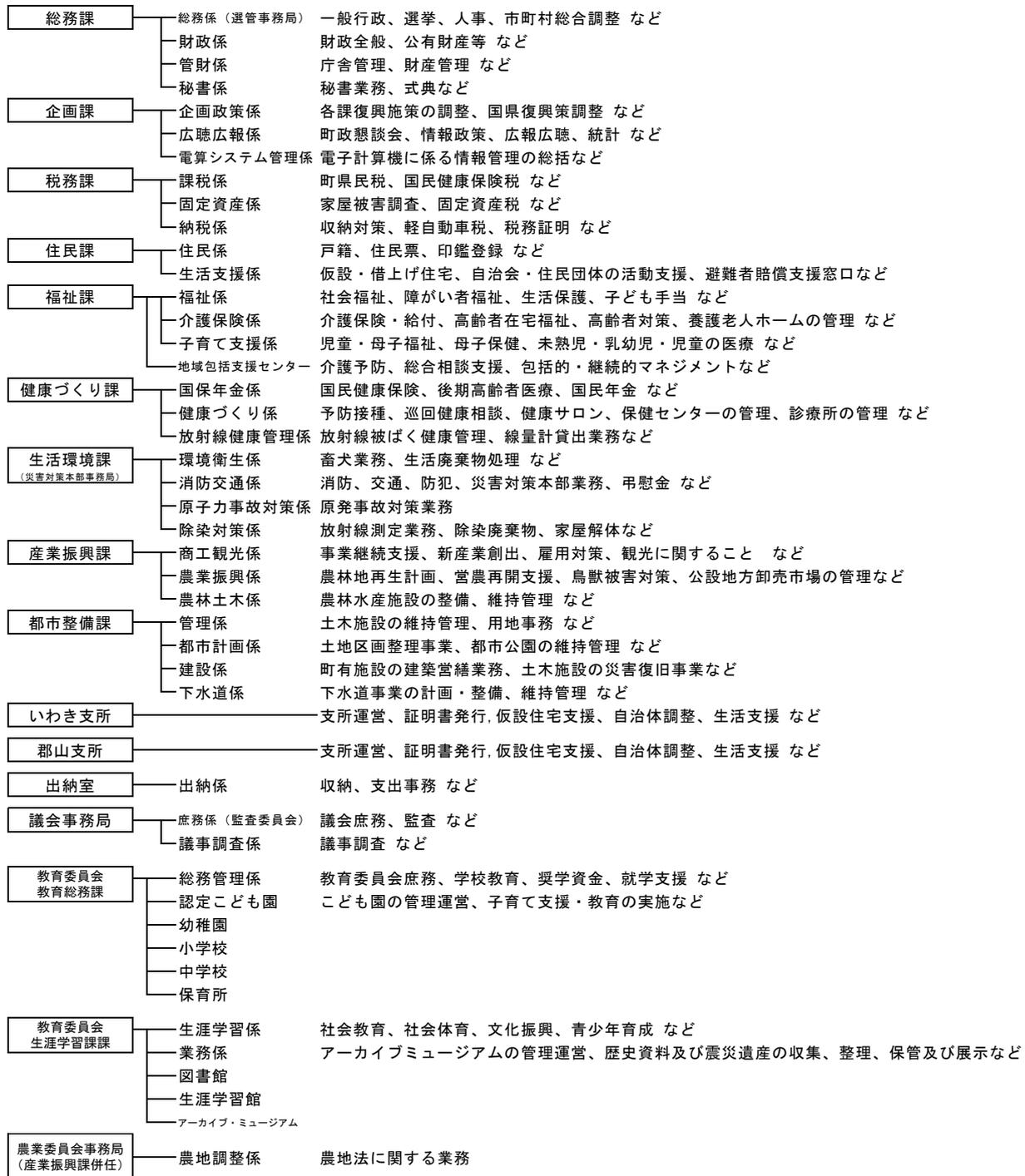


● この仕事のやりがい
児童数が少ないからこそ、一人一人としっかり関わることが出来ます。大変な時でも、園長先生をはじめ周りの先生方のサポートがあり、一人で抱え込まず園全体で子供たちを育てていける環境です。施設も充実していて、少人数保育が可能です。

先輩からのメッセージ
ぜひ色々なことに挑戦してみてください。得意ではないことも、出来ないと思うのではなく、一歩踏み出してみると、新しい発見があるはずです！

富岡町の組織と仕事

東日本大震災及び原発事故からの復興事業に引き続き取り組むとともに、町民に必要不可欠な行政サービスを提供するための体制を構築しています。



職員数

161人

平均年齢

33歳

男女比率

男性 6:4 女性

年次休暇取得日数

15日(平均)

1月当たりの時間外勤務時間

平均 10時間 (令和6年度実績)



勤務条件と給与



勤務場所	【行政・土木・保健師・一般事務】 富岡町役場 福島県双葉郡富岡町 大字本岡字王塚622番地の1	【保育教諭】 富岡町立認定こども園 福島県双葉郡富岡町 大字小浜字大膳町152番地
給与	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本給 大卒: 224,600円 短大卒: 207,900円 高卒: 191,300円 ※学歴が上位であったり、職歴の年数やその内容によって、給料の額が決定されます。 ※給与改定により額が変わる場合があります。 ● 賞与 年 2 回 (6月に2.30ヶ月分を、12月に2.30ヶ月分の合計4.60月分支給) ※給与改定により支給率が変更になる場合もあります。 ● 通勤手当 自家用車で通勤の場合、上限70,600円を支給。90-100kmで 68,000円程度 ● 住居手当 上限 28,000円を支給 ● その他手当 扶養手当、時間外勤務(残業)手当、特殊勤務手当、期末・勤勉手当(ボーナス)等が、それぞれの支給要件に応じて支給されます 	
勤務条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務時間 原則として月曜日から金曜日までの週5日、1日7時間45分勤務 ※保育教諭は、月曜日から土曜日までの間で週5日、1日7時間45分勤務 ● 休暇 年次有給休暇(初年度は15日)をはじめ、子育て、忌引、結婚休暇などの特別休暇あり 	
職員寮	男子寮2棟 女子寮1棟あり 月額 15,000円 で入居可能	

富岡町の研修制度



職員研修

職員一人ひとりが行政運営の基本をしっかりと認識し、公務員として、そして富岡町職員としてのスキル向上を図るため、各種研修を実施しています。



【外部研修】

福島県が設置する「ふくしま自治研修センター」で他自治体の職員と一緒に集合研修を行います。

【内部研修】

■ コンプライアンス研修

法律等を遵守し、公正・公平に業務を遂行するために必要な研修を実施。(公務員倫理等)

■ 実務基礎研修

職員が各施策の必要性や意義を認識し、組織内の業務遂行に必要な実務研修を実施。(財務、契約、税、法制執務等の実務等)

令和8年度

富岡町職員採用試験スケジュール

採用予定人数と受験資格

令和8年4月1日採用(予定)

職種	採用予定人数	受験資格
一般行政職 (大学卒程度)	若干名	平成元年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者
土木 (短大・高専卒程度)	若干名	平成11年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者
保育教諭 (資格免許職)	若干名	平成5年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者 保育士・幼稚園教諭免許を有する又は令和8年3月までに取得予定の者
保健師 (資格免許職)	若干名	昭和61年4月2日以降に生まれた者 保健師の資格免許を有する者又は令和8年3月までに取得予定の者
一般事務・土木 (高校卒程度)	若干名	平成16年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者

「大卒程度」「短大・高専卒程度」「資格免許職」
申込し受付
終了しました

試験日程・試験内容(今年度の予定)

- ①一般行政職 …… (大学卒程度)
- ②土木 …… (大学卒程度 / 短大・高専卒程度)
- ③保育教諭 …… (資格免許職)
- ④保健師 …… (資格免許職)
- ⑤一般事務・土木 …… (高校卒程度)



富岡町職員採用試験についてお問い合わせ

採用試験の詳細については下記ホームページをご覧ください。富岡町総務課総務係までお気軽にご連絡ください。

富岡町総務課 総務係

0240-22-2111

午前8時30分～午後5時15分(平日)

富岡町ホームページ

<https://www.tomioka-town.jp/>

富岡町ホームページ

検索

